

畠山重忠ゆかりの地と尾根道緑道の桜

日 時：3月25日（土）

コース：鶴ヶ峰駅（WC）→鎧の渡し緑道→首洗いの井戸→首塚→重忠公碑・さかさ竹→鶴ヶ峰コミュニティーハウス（WC）→矢畑・越し巻き→薬王寺・六ツ塚→ふるさと尾根道緑道（今宿東公園・WC）→横浜動物の森・ズーラシア解散（12：30頃 約6km）

No.	見 所	由 来 ・ 史 跡
	畠山重忠	畠山重忠公は源頼朝の忠臣として幕府の創設にも力を尽くし、智・仁・武を兼ね備えた名将でしたが、幕府の実権をめぐる争いに巻き込まれ、鎌倉に向かう途中にこの地で北条の大軍の待ち伏せを受け、戦死しました。
1	鎧の渡し緑道	現在は緑道として整備されているが、帷子川はこの地を流れ川幅が広く、武士がここを渡る時、鎧を頭にかざし川を越えたので「鎧の渡し」と呼ばれていた。
2	首洗い井戸	この付近の河原に地下水が湧き出る井戸があり、その井戸の水を使って、畠山重忠公の首を洗いました。
3	首塚	畠山重忠公の首はこの辺りで斬られ、鎌倉に送られた。遺体はこの場所に葬られたと伝えられている。
4	畠山重忠公碑 さかさ矢竹	昭和30年（1955）6月22日、畠山重忠公の没後750年を記念して、埼玉県川本町（現・深谷市）と鶴ヶ峰の有志により建立されました。 重忠公が「我が心正しかれば、この矢に枝葉を生じ繁茂せよ」といい二本の矢を地面に突き立てたのが根付き、毎年二本ずつ増え、茂り続けたという。
5	矢畑・越し巻き	北条勢の放った矢が一面につきささり、矢の畑のようになったということから「矢畑」と呼ばれている。この辺りで畠山重忠公が取り囲まれたという説と、矢が腰巻きのようにぐるりと取り巻いたという説がある。
6	薬王寺 六ツ塚	以前は、今宿南町にありました。明治39年（1906）、火災により焼失し、昭和3年（1928）、重忠公をはじめ、一族郎党134士を供養するため現在地に再建されました。毎年、命日6月22日には慰霊祭が催されます。 重忠公をはじめ、一族郎党134士を埋めたと伝えられている6つの塚があります。
7	ふるさと尾根道緑道	旭区の背骨に当たる稜線にそって、導水路敷きを中心に整備された緑道。全長約1.6kmの長さがあり、旭区グリーンロードのルートとしても親しまれています。

\*コースは、道幅・歩道が狭い所があります。横に広がらないようご協力お願いします。

〈次回案内〉 へえ！ここがそうなんだ・・・瀬谷歴史かるたを歩く

日時：2023年4月15日（土）三ツ境駅前広場 9時～15分受付

スタッフ 募集中！

問い合わせ先：せや・ガイドの会 竹見（☎ 090-3900-6469）まで

ホームページ「せや・ガイドの会」で【検索】

